

No.	ページ	いただいたご意見	町の考え方
1	16 以降	葉山の特徴を踏まえた計画になっているのでしょうか。海山、田畑があり、人口は減少見込だが、高齢者が多く、子どもも意外と多い。しかし商店は少なく、坂道が多いにもかかわらず、輸送手段の検討は遅々として進まない。高齢者が散歩している時はもちろん、バス停にも椅子がないところが多い。ただ今回の計画の中で、葉山には年寄りも若者も一人暮らしが多いので、今回の計画において孤立対策に力を入れようとしていることは大変喜ばしいことである。	現在の計画について、町民の皆様や各種団体・事業所など計画の主役となる皆様の活動実績を振り返り、今後の方向性と課題についてまとめています。これを踏まえて計画（案）を作成しております。 いただいたご意見を参考に、今後も町民の皆様、各種団体や事業所の皆様と町の特徴や生活実態を踏まえた計画を策定してまいります。
2	28 33 34 40 41 42 43	社協と計画年度を合わせたことは良いのであるが、実質的にほとんど社協に任せきりである。相変わらず生活困窮者の把握も不十分だし、障害者については、各自が人生設計をするためにはほとんど親任せの傾向がある。また、学校でヤングケアラーの調査をした結果、ゼロ回答（？、正確な報告数は分からない）のようであるが、調査方法に問題はなかったか？ゼロということはある得ない。これら各種の課題について、民生委員は残念ながらあまり頼りにならない。個人情報保護の考えが先行しているからと思う。そのためコロナがない時でも、民生委員の活動には限界がある。第一、隣人が生きていいのか死んでいるのかさえ、住民は知ることが出来ない。個人情報保護法を拡大解釈してしまっている結果と思う。町内会や自治会で福祉活動が停滞しているところが多く、孤独を深める人のなんと多いことか。葉山は東京等から移り住む人が多くなり、それに反比例して、隣人の交流が減少しているのが実状である。	小地域福祉活動や自治会、町内会などさまざまな集いの場がありますが、それぞれの地域で町民の皆様が自分達に見合った集いの場を作り、維持していくこと、また、集いの場に来れない人は訪問をするなど、町民同士の交流の活発化や孤立を防ぐ対策について取組みを掲げております。 いただいたご意見を参考に、全ての世代、さまざまな状況の人に寄り添うような取組みを検討してまいります。
3	なし	他の市町村で先行しているところをもっと学ぶべきであろう。例えば、住民の7割が認知症サポーターである富士宮市を参考にすると良い。国土交通省が推奨するグリーンスローモビリティ導入を始めたところの情報を集めてほしい。	いただいたご意見を参考にします。

4	なし	福祉を知らずして福祉の計画は立てられない。福祉の仕事は他の業務とは異なり、現場の知識が重要である。役場のスタッフを毎年2、3名、2年間位は福祉の最前線で働かせるべきである。また民間の人材を役場の専門官として一定期間登用すれば、行政の仕事の理解と効果的な改善が進むと思う。	いただいたご意見を参考にします。
5	なし	本委員会に限らず、各種の福祉関係委員会は、単なる報告会ではなく、議題を建議する場であるとの認識が必要であり、規約の見直しが必要ではないだろうか。	いただいたご意見を参考にします。
6	なし	障害者福祉計画等が本計画よりも先にできているが、本来逆ではないか。	それぞれの計画で期間を設けて改訂を繰り返しています。